清水町役場
地球温暖化対策実行計画

第 2 版

平成 21 年 4 月

清水町

はじめに

清水町は、富士山の恵みである日量 100 万トンの湧水量を誇る町のシンボル清流柿田川、伊豆半島を縦断する雄大な狩野川が流れ、みどりが豊かな自然と共生した町です。

また、国道一号線が町の北部を通過し、東名高速自動車道沼津 IC や JR 東海道新幹線三島駅にも近く、広域的な交通の要衝地として位置するとともに、シッピングセンターなどの大規模複合型施設の建設により県東部地域の商業拠点にもなっています。

一方、農業後継者不足による水田の減少、丸池の湧水枯渇や森林の荒廃による野生生物被害の増加など、身近な自然環境は確実に変化しています。

2007 年 2 月の気候変動に関する政府間パネル第 4 次評価報告書によれば、近年の大気や海洋の世界平均温度の上昇、雪氷の広範囲にわたる融解等から、気候システムの温暖化は疑う余地がなく、温室効果ガスの排出がこのままでは、一層の温暖化の原因となり、これまでの気候システムの変動よりも多くの変化が引き起こされる可能性が杞憂では終わらない可能性が示唆されています。

また、大気中の温室効果ガスの増加は、産業革命以降の人為的活動によってもたらされた可能性がかなり高いとされ、地球の本来のリズムではないことが報告されています。

国では、平成９年に開催された気候変動枠組条約第３回締約国会議（ＣＯＰ３）の結果を受け、「地球温暖化対策の推進に関する法律」が制定され、国、地方公共団体、事業者及び国民それぞれの責務が規定され、平成 20 年 6 月の改正により、地方公共団体においても、温室効果ガスの削減に向けた実行計画の策定及び取り組み状況の公表が義務付けられたところです。

政府は、平成 17 年 2 月の京都議定書発効を受け、「京都議定書目標達成計画」を策定し、静岡県においては、「新ふじのくにアジェンダ 21」の見直しや、「ストップ温暖化しずおか行動計画」が策定されました。

清水町においては、平成 14 年 4 月に「清水町役場の地球温暖化対策　地球にやさしい率先行動実行計画」を策定し、以降 5 年間で基準年（平成 13 年度）から５％の二酸化炭素の排出を削減することを目標にしました。温室効果ガスの直接的な排出原因となる燃料の消費等をはじめ、コピー用紙・水道使用量等の削減、グリーン購入・地球にやさしい事業活動の推進についても目標を定め、職員全員が参加した取り組みを目指しました。

今後は、第 2 期計画に基づき、清水町役場における温室効果ガス排出削減目標の達成とともに、町民・事業者の積極的な取り組みの推進を図るため、環境施策・職員の自主的で率先的な活動を推進します。

目　　次

はじめに

第１章　計画の基本的事項 ･･･ 1
　１計画の目的
　２計画の期間
　３計画の対象範囲
　４計画の対象となる温室効果ガス

第２章　温室効果ガス排出の現状と削減目標 ･････････････････････････････････ 2
　１温室効果ガス排出の現状
　２温室効果ガス排出量の削減目標

第３章　推進及び運用 ･･･ 3
　１推進体制
　２運用方法
　３取り組みの実践

第４章　計画の進行管理 ･･･ 5
　１点検・評価
　２改善への見直し
　３進捗状況の公表

資料編 ･･･ 6
　資料１　対象施設・車両等
　資料２　排出係数及び地球温暖化係数
　資料３　環境配慮・負荷項目記録シート

第１章　基本的事項

１ 計画の目的

本計画は、第 1 期の実行計画を引き継ぎ、地球温暖化対策に資するため、役場自らの事務事業等に伴い排出される温室効果ガスの削減を図るとともに、役場が率先して地球温暖化対策の取り組みを実行することにより、住民や事業者の主体的な取り組みを促進することを目的とします。

２ 計画の期間

平成 21 年（2009 年）度から平成 25 年（2013 年）度までの 5 年間を第 2 期計画期間とします。

３ 計画の対象範囲

町が行う事務事業のうち、次項の温室効果ガスを排出する別紙に掲げる施設等を対象とします。

外部への委託や請負等（指定管理者制度等）により行う事務事業等は、本計画の対象外としますが、排出抑制のための措置を講じるよう協力を求めていきます。

＊対象組織・施設・車両等は資料１参照

４ 対象となる温室効果ガス

地球温暖化対策の推進に関する法律に定められた温室効果ガスのうち、次に掲げる温室効果ガスを対象とします。

温室効果ガスの種類	算定対象となる排出源
二酸化炭素（CO_2）	・燃料の使用 ・ガスの使用 ・電気の使用
メタン（CH_4）	・公用車の走行 ・浄化槽の使用
一酸化二窒素（N_2O）	・公用車の走行 ・浄化槽の使用

＊温室効果ガス算出に係る係数・温暖化係数は資料２参照

第２章　温室効果ガス排出の現状と削減目標

１ 温室効果ガス排出の現状

対象となる施設から排出される温室効果ガスの平成 19 年度排出量（基準値）は、次のとおりです。

〇温室効果ガス総排出量　1,366,958.4 kg-CO_2

燃料の燃焼等に伴う二酸化炭素排出量　　単位kg-CO_2

	車両	機械等	電気	総排出量
19 年度実績	59,161.6	162,336.6	1,116,726.0	1,338,224.3

メタン排出量

	公用車の走行	浄化槽
19 年度実績	2.6 kg-CH_4	817.3 kg-CH_4
CO_2換算	53.6 kg-CO_2	17,163.3 kg-CO_2

公用車の走行による一酸化二窒素排出量

	公用車の走行	浄化槽
19 年度実績	4.5 kg-N_2O	32.7 kg-N_2O
CO_2換算	1,382.6 kg-CO_2	10,134.5 kg-CO_2

２ 温室効果ガス排出量の算定方法

本計画では、次に掲げる算式により温室効果ガス排出量の把握及び二酸化炭素換算を年度ごとに行います。

◎温室効果ガス排出量＝活動量×係数

◎温室効果ガス二酸化炭素換算＝温室効果ガス排出量×地球温暖化係数

＊温室効果ガス算出に係る係数及び地球温暖化係数は資料２参照

３ 温室効果ガス排出量の削減目標

本計画で削減する温室効果ガスの目標は、基準年度に比べて３％減とし数値等は次のとおりです。

〇基準年の温室効果ガス排出量：1,366,958.4 kg-CO_2

＊このうち浄化槽から排出されるメタン、一酸化二窒素を除く、1,339,660.5 kg-CO_2 を削減対象とする。

〇目標値：1,299,470.7 kg-CO_2　３％削減

〇基準年度：平成 19 年度（2007 年度）

＊ただし、資料１の＊印の施設については、基準年度の温室効果ガスの排出量の算出が困難なため、算出が可能な当初年度分を基準年度とします。

個別目標　　単位：kg-CO_2

	車両	機械等	電気	総排出量
基準値	60,597.9	162,336.6	1,116,726.0	1,339,660.5
目標値	58,779.9	157,466.5	1,083,224.3	1,299,470.7
削減値	1,817.9	4,870.1	33,501.8	40,189.8

第３章　計画の推進

１ 推進体制

本計画の推進に関する取り組みは、次の体制により役場全体で推進します。

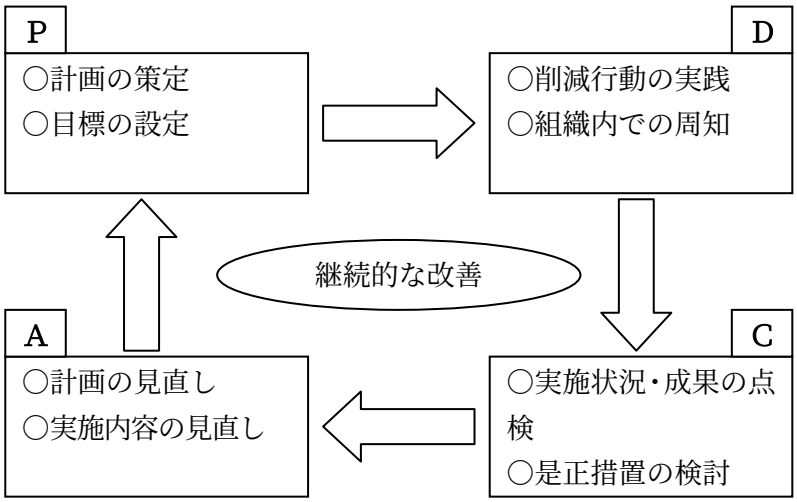
推進体制の責任者等			役割
統括者		町長	計画の推進方針決定 実績報告の受理 計画全体の評価
推進管理委員会	統括者補佐	副町長 教育長	統括者の補佐・代理 実施状況の把握
	管理者	地域振興課長 こども育成課長 消防長	計画の管理 目標の検討・決定 統括者への報告・結果の公表 所管実行組織の統括
	管理者補佐	地域振興課長補佐 こども育成課長補佐 消防次長（署長）	実行組織への指示 所管実行組織の統括の補佐 管理者の補佐
実行組織	責任者	課長・局長・消防長・施設長等 ＊資料１に掲げる実行組織長	実行組織所管施設等の適正管理 実行組織内の教育・訓練 取り組みの評価
	推進員	実行組織に１人以上	責任者の補佐 取り組みの点検・記録
	実行員	職員（嘱託・臨時職員含む）	責任者の指示による活動の推進

＊必要に応じ推進管理委員会を開催し実行組織への指示等を検討します。

＊統括者補佐が所管する実行組織は、資料１のとおりとします。

２ 推進方法

本計画の推進は、『Plan』『Do』『Check』『Action』のサイクルによる継続した取り組みを推進します。



３ 取り組みの実践

(1)温室効果ガス排出（目標対象項目）に関する取り組み

〇電気使用量の削減

□PC の省エネルギーモードへの切替の徹底

□クールビズ・ウォームビズの推進（空調機器の適正管理・適正な被服等）

□業務に支障のない範囲（照度基準：JIS）での消灯

□職員の移動時におけるエレベーターの使用は原則禁止

〇ガス使用量（LPG・都市ガス）の削減

□効率的な使用に努め、劣化等は速やかに修繕等を行う。

□使用時間を定めるなど、継続的な運転を極力避ける。

〇公用車燃料使用量の削減

□エコドライブを推進し無駄な燃料消費を抑える。

□短距離の移動は、公用自転車を活用し公用車の使用を控える。

□長距離の移動は、低燃費車を優先利用し燃料の使用を抑える。

□相乗りを励行し燃料の使用を抑える。

〇機械等の燃料使用量の削減

□計画的な使用に努め無駄な燃料の消費を抑える。

□効率的な運転・適正な管理の実施により燃料を削減する。

(2)環境に配慮した取り組み

〇環境に関連する事業等の取り組み

□本来業務において、環境負荷の低減が期待できる取り組みや温室効果ガスの削減に効果がある取り組みについて、実行組織ごと１つ以上の計画を立て実施する。

□環境負荷の大きな事業等については、環境負荷の低減を図るための措置を計画する等、計画的且つ効率的な事業実施により環境負荷の低減を図る。

〇ごみの減量化・資源の有効利用の推進

□３Ｒを推進し、役場から排出されるごみの減量に努める。

□裏面利用可能な用紙を再利用し、事務用紙の削減に努める。

□ＦＡＸ用紙は業務に支障のない範囲で裏面利用可能紙を使用する。

□資源化可能な物は分別し、再資源化を図る。

〇節水活動の推進

□節水コマの設置等により使用量の削減に努める。

□ため洗い等を推進し使用量の削減に努める。

□漏水等の点検を行い適正な管理を実施する。

(3)資材の購入や工事での取り組み

〇環境に配慮した機器等の購入（グリーン購入の推進）

□機器の購入時は環境配慮製品を積極的に導入する。

□消耗品等はグリーン購入に努める。

□事務用紙等の購入・パンフレット・印刷物等の作成は、原則、古紙配合率 70%以上、白色度 80%以下の用紙とする。

〇環境に配慮した公共工事の推進

□建築物の建築等については省エネルギー機器の導入、自然エネルギーの利用、屋上緑化等を心がけると共に、循環型施設の建築に努める。

□公共工事においては、工事中の温室効果ガス排出の削減のため、効率的な工事計画を立てると共に、公共工事請負業者に対し省エネルギー機器の利用、低公害車等の使用等について働きかける。

第４章　計画の進行管理

１ 点検・評価

(1) 温室効果ガス排出（目標対象項目）に関する取り組み

〇点検

・温室効果ガスの排出に関連する燃料等の消費量を記録シートに毎月記入し、消費量の増減、活動状況等を点検します。

〇評価

・半期に一度、点検した内容に基づき実施手順・使用量等の評価を行います。評価の結果は、全職員等に周知し、率先的な取り組みの推進を図ります。

(2) 環境に配慮した取り組み

〇点検

・実行組織ごと目標とした取り組みについて、半期に１回以上確認し状況等を点検します。

〇評価

・点検後概ね 30 日以内に取り組み手順・目標の達成度等を評価し、結果について実行組織内で公表し取り組みの推進を図ります。

２ 進捗状況の公表

本計画に係る進捗状況（温室効果ガスの削減状況・環境に配慮した実行組織ごとの取り組み）について、毎年、ホームページ・広報しみずで公表します。

３ 改善への見直し

計画の円滑な推進を図るため、点検結果や進捗状況をもとに、必要に応じて計画の見直しを行います。

対象組織・施設等

管理者	実行組織	保有施設等	電気	ガス	ｶﾞｿﾘﾝ	軽油	灯油	取組
地域振興課長	総務課	本庁舎	○	都				○
		防災倉庫	○					
		車両			○	○		
	企画財政課							○
	税務住民課							○
	地域振興課	車両			○	○		○
		機械				○		
	安全安心課	防災センター	○	プ				○
		車両			○			
	福祉課	子育て総合支援センター*	○	都				○
		こども交流館*	○	都				
	健康づくり課	保健センター	○	都				○
		車両			○			
	保険課							○
	建設課	車両			○	○		○
	都市計画課	車両			○			○
	収納会計課							○
	議会事務局	車両			○			○
こども育成課長	こども育成課	清水保育所	○	都				○
		中央保育所	○	都				
		南保育所	○	都				
		清水幼稚園	○	プ			○	
		北幼稚園	○	都				
		南幼稚園	○	都				
		西幼稚園	○	プ				
		清水小学校	○	プ	○			
		清水小学校給食		プ			○	
		南小学校	○	都	○		○	
		南小学校給食		都			○	
		西小学校	○	都	○		○	
		西小学校給食		都			○	
		清水中学校	○	都	○		○	
		清水中学校給食		都				
		南中学校	○	プ	○		○	
		南中学校給食		プ				
		車両			○			

	生涯学習課	町公民館*	○			○		○
		図書館	○	プ				
		町体育館	○	都		○		
		機械				○		
		車両			○			
消防長	消防本部	消防庁舎	○	プ	○			○
		車両			○	○		

注）プ：プロパンガス　都：都市ガス

注）本表に掲げる以外の新規施設については、完成後速やかに温室効果ガス排出量算定対象施設とする。（目標値は変更しない。）

注）＊印は基準年度の排出量把握ができないため、把握可能な当初年度を基準年とする。

注）外部への委託等による施設は、本計画の対象外とする。

保有車両

課名	車両名称	
	ガソリン燃料車	軽油燃料車
総務課	●サニー10 号●軽 Box24 号●ミニキャブ●サニー15 号●アルト●エブリー●ワゴンＲ●プリウス●ワゴン２●サンバー軽 13 号●サニー16 号【11 台】	●ワゴン１【１台】
地域振興課	●キャブ 33 号●キャブ 34 号●キャブ 35 号【３台】	●塵芥ダンプ●ランクル【２台】
安全安心課	●防災バイク①●防災バイク②●交通指導車【３台】	
健康づくり課	●福祉車両ワゴンＲ【１台】	
建設課	●道路パトロールカー●水防車【２台】	●ダンプ【１台】
都市計画課	●ワゴンＲ25 号●軽トラ 23 号●エブリーⅡ(軽)【３台】	
こども育成課	●教育長車【１台】	
生涯学習課	●サニー7 号●トラック●サニー2 号●サニー1 号●軽トラ【５台】	
議会事務局	●プリウス【１台】	
消防本部	●救急 1●救急２●51 号車●61 号車●62 号車●71 号車●清風隊【７台】	●消防 1●消防３●41 号車【３台】

資料２

温室効果ガス算出に係る係数及び地球温暖化係数

温室効果ガス算出に係る係数

○二酸化炭素

燃料の燃焼に伴う排出	係数	活動量
ガソリン	2.32（kg-CO_2／ｌ）	総排出量算定期間に本来の用途に従って使用された当該燃料の量
灯油	2.49（kg-CO_2／ｌ）	
軽油	2.62（kg-CO_2／ｌ）	
Ａ重油	2.71（kg-CO_2／ｌ）	
液化石油ガス（LPG）	3.00（kg-CO_2／kg）	
都市ガス	2.08（kg-CO_2／Nm^3）	

他人から供給された電気の使用に伴う排出	係数	活動量
電気	0.555（kg CO_2／kWh）	総排出量算定期間において使用された他人から供給された電気の量

○メタン

自動車の走行に伴う排出	係数	活動量
ガソリン／乗用車	0.000010（kg-CH_4／km）	総排出量算定期間中における当該車両１台当たりの走行量
ガソリン／軽乗用車	0.000010（kg-CH_4／km）	
ガソリン／普通貨物車	0.000035（kg-CH_4／km）	
ガソリン／小型貨物車	0.000015（kg-CH_4／km）	
ガソリン／軽貨物車	0.000011（kg-CH_4／km）	
ディーゼル／乗用車	0.0000020（kg-CH_4／km）	
ディーゼル／普通貨物車	0.000015（kg-CH_4／km）	
ディーゼル／小型貨物車	0.0000076（kg-CH_4／km）	

浄化槽の使用に伴う排出	係数	活動量
全ての浄化槽	0.55（kg-CH_4／人）	対象浄化槽処理対象人員

○一酸化二窒素

自動車の走行に伴う排出	係数	活動量
ガソリン／乗用車	0.000029（kg-N_2O／km）	総排出量算定期間中における当該車両１台当たりの走行量
ガソリン／軽乗用車	0.000022（kg-N_2O／km）	
ガソリン／普通貨物車	0.000039（kg-N_2O／km）	
ガソリン／小型貨物車	0.000026（kg-N_2O／km）	
ガソリン／軽貨物車	0.000022（kg-N_2O／km）	
ディーゼル／乗用車	0.000007（kg-N_2O／km）	

ディーゼル／普通貨物車	0.000014（kg-N_2O／km）	
ディーゼル／小型貨物車	0.000009（kg-N_2O／km）	

浄化槽の使用に伴う排出	係数	活動量
全ての浄化槽	0.022（kg- N_2O／人）	浄化槽処理対象人員

地球温暖化係数

温室効果ガス	地球温暖化係数
二酸化炭素	1
メタン	21
一酸化二窒素	310

組織別環境配慮の取り組み　　課名

取り組み												
目的												
対象施設												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
手順（手段）												
実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	上期						下期					
目標												
目標の達成状況												
評価												

温室効果ガス排出量チェックシート　　課名

対象ガス	■電気の使用に伴う排出　二酸化炭素排出量の削減											
対象施設												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
手順（手段）												
実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
累計	0.0kw			0.0kw			0.0kw			0.0kw		
二酸化炭素排出量換算	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2
累計	0.0kg-CO2			0.0kg-CO2			0.0kg-CO2			0.0kg-CO2		
手段の実施状況												
目標値	目標値【2009年度】						目的値【2013年度】					

温室効果ガス排出量チェックシート　　課名

対象ガス	■燃料の燃焼に伴う排出【都市ガス】　二酸化炭素排出量の削減											
対象施設												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
手順（手段）												
実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
累計	0.0?			0.0?			0.0?			0.0?		
二酸化炭素排出量換算	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2
累計	0.0kg-CO2			0.0kg-CO2			0.0kg-CO2			0.0kg-CO2		
手段の実施状況												
目標値	目標値【2009年度】						目的値【2013年度】					

温室効果ガス排出量チェックシート　　課名

対象ガス	■燃料の燃焼に伴う排出【プロパンガス】　二酸化炭素排出量の削減											
対象施設												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
手順（手段）												
実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
累計	0.0kg			0.0kg			0.0kg			0.0kg		
二酸化炭素排出量換算	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2
累計	0.0kg-CO2			0.0kg-CO2			0.0kg-CO2			0.0kg-CO2		
手段の実施状況												
目標値	目標値【2009年度】						目的値【2013年度】					

温室効果ガス排出量チェックシート　　課名

対象ガス	■燃料の燃焼に伴う排出【ガソリン】　二酸化炭素排出量の削減											
対象車両 対象機器										対象機器		台数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
手順 （手段）												
実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
累計	0.0リットル			0.0リットル			0.0リットル			0.0リットル		
二酸化炭素 排出量換算	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2
累計	0.0kg-CO2			0.0kg-CO2			0.0kg-CO2			0.0kg-CO2		
手段の 実施状況												
目標値	目標値【2009年度】						目的値【2013年度】					

温室効果ガス排出量チェックシート　　課名

対象ガス	■燃料の燃焼に伴う排出【軽油】　二酸化炭素排出量の削減											
対象車両												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
手順 （手段）												
実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
累計	0.0リットル			0.0リットル			0.0リットル			0.0リットル		
二酸化炭素 排出量換算	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2
累計	0.0kg-CO2			0.0kg-CO2			0.0kg-CO2			0.0kg-CO2		
手段の 実施状況												
目標値	目標値【2009年度】						目的値【2013年度】					

温室効果ガス排出量チェックシート　　課名

対象ガス	■燃料の燃焼に伴う排出【灯油】　二酸化炭素排出量の削減											
対象車両												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
手順（手段）												
実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
累計	0.0ﾘｯﾄﾙ			0.0ﾘｯﾄﾙ			0.0ﾘｯﾄﾙ			0.0ﾘｯﾄﾙ		
二酸化炭素排出量換算	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2	0.0kg-CO2
累計	0.0kg-CO2			0.0kg-CO2			0.0kg-CO2			0.0kg-CO2		
手段の実施状況												
目標値	目標値【2009年度】						目的値【2013年度】					

温室効果ガス排出量チェックシート　自動車の走行に伴うメタン・一酸化二窒素の排出

車名	車種	用途	使用燃料	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総計	メタン	一酸化二窒素
キャブ33号	軽	貨物	ガソリン													0	0	0
キャブ34号	軽	貨物	ガソリン													0	0	0
キャブ35号	軽	貨物	ガソリン													0	0	0
軽トラ23号	軽	貨物	ガソリン													0	0	0
軽トラ体	軽	貨物	ガソリン													0	0	0
軽Box24号	軽	乗用	ガソリン													0	0	0
ミニキャブ	軽	乗用	ガソリン													0	0	0
ｻﾝﾊﾞｰ軽13号	軽	乗用	ガソリン													0	0	0
ｴﾌﾞﾘｰ II（軽）	軽	乗用	ガソリン													0	0	0
アルト	軽	乗用	ガソリン													0	0	0
ワゴンR	軽	乗用	ガソリン													0	0	0
ﾜｺﾞﾝR25号	軽	乗用	ガソリン													0	0	0
福祉車両ﾜｺﾞﾝR	軽	乗用	ガソリン													0	0	0
トラック	小型	貨物	ガソリン													0	0	0
サニー1号	小型	貨物	ガソリン													0	0	0
ダンプ	小型	貨物	軽油													0	0	0
サニー10号	小型	乗用	ガソリン													0	0	0
サニー15号	小型	乗用	ガソリン													0	0	0
サニー16号	小型	乗用	ガソリン													0	0	0
交通指導車	小型	乗用	ガソリン													0	0	0
サニー7号	小型	乗用	ガソリン													0	0	0
サニー2号	小型	乗用	ガソリン													0	0	0
エブリー	小型	乗用	ガソリン													0	0	0
プリウス	小型	乗用	ガソリン													0	0	0
ワゴン2	小型	乗用	ガソリン													0	0	0
教育長車	小型	乗用	ガソリン													0	0	0
道路パト	小型	乗用	ガソリン													0	0	0
水防車	小型	乗用	ガソリン													0	0	0
議長車（ﾌﾟﾘｳｽ）	普通	乗用	ガソリン													0	0	0
ワゴン1	普通	乗用	軽油													0	0	0
ランクル	普通	乗用	軽油													0	0	0
塵芥ダンプ	普通	貨物	軽油													0	0	0
救急1	普通	特殊	ガソリン													0	0	0
救急2	普通	特殊	ガソリン													0	0	0
51号車	普通	特殊	ガソリン													0	0	0
61号車	普通	特殊	ガソリン													0	0	0
62号車	普通	特殊	ガソリン													0	0	0
71号車	普通	特殊	ガソリン													0	0	0
清風隊	小型	乗用	ガソリン													0	0	0
消防1	普通	特殊	軽油													0	0	0
消防3	普通	特殊	軽油													0	0	0
41号車	普通	特殊	軽油													0	0	0